

# 令和2年度(2020年度)一般会計決算概要

## 613億2,672万円の使いみち

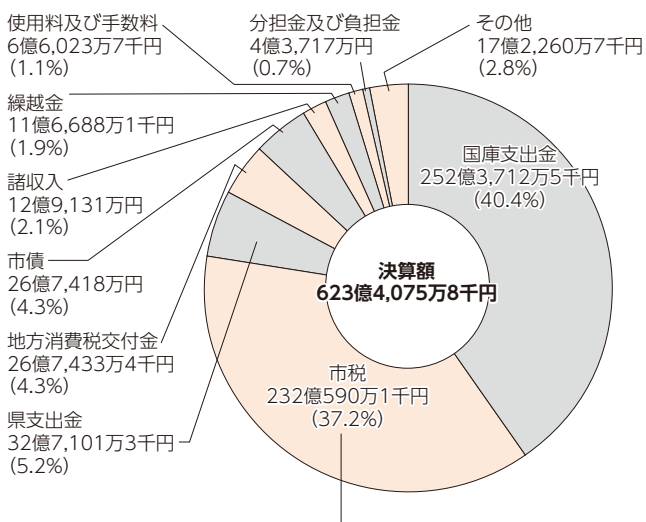
より詳しい財政状況は市ホームページに掲載しています。下のコードからご覧ください。



令和2年度(2020年度)一般会計決算の概要と財政状況をお知らせします。

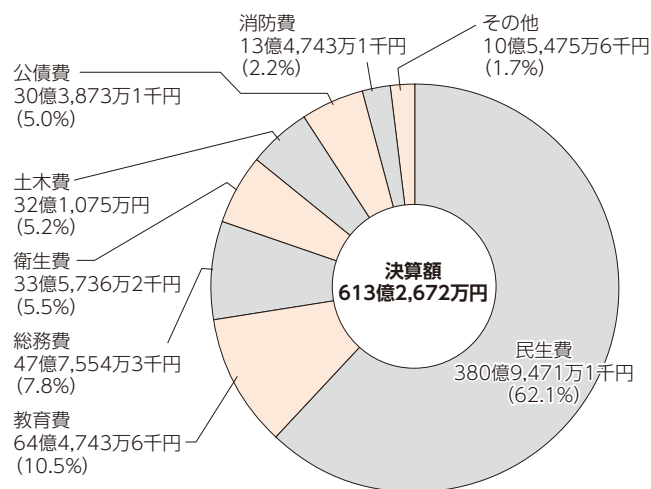
問/財政課 ☎463-3179

### 歳入



|       |               |       |              |
|-------|---------------|-------|--------------|
| 市民税   | 116億4,741万5千円 | 市たばこ税 | 7億9,547万8千円  |
| 固定資産税 | 92億9,637万円    | 都市計画税 | 13億1,758万9千円 |
| 軽自動車税 | 1億4,904万9千円   |       |              |

### 歳出



\*グラフの( )内は、決算額に対する構成比を表しています。

令和2年度一般会計の歳入の決算額は、623億4,075万8千円で、令和元年度に比べ178億3,218万8千円(40.1%)の増となりました。この主な要因は、特別定額給付金の支給に伴い国から補助金を受け入れたことや、子どものための教育・保育給付費が増えたことで、国庫支出金や県支出金が増えたことなどによります。

令和2年度一般会計の歳出の決算額は、613億2,672万円で、令和元年度に比べ179億8,503万円(41.5%)の増となりました。この主な要因は、特別定額給付金給付事業など新型コロナウイルス感染症対策を実施したほか、第八小学校自校給食施設等の整備や総合体育館の施設改修に係る工事費が増加したことなどによります。

民生費…福祉や保育など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するための経費です。  
 教育費…学校・博物館・公民館・図書館などの施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うための経費です。  
 総務費…徴税・戸籍・選挙・統計などのための経費です。  
 衛生費…公害対策やごみ処理など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費です。  
 土木費…道路橋りょうの整備・改良、都市計画などのための経費です。  
 公債費…市が借り入れた市債(借金)の元金、利子の償還(返済)費です。  
 消防費…埼玉県南西部消防本部の運営や、消防団の活動などのための経費です。  
 商工費…中小企業への融資支援、商工業の振興などのための経費です。  
 議会費…議会の活動のための経費です。  
 農林水産業費…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費です。  
 労働費…労働者を支援する各種事業のための経費です。  
 諸支出金…土地開発基金への繰出金など、上記の目的に当てはまらない経費です。

令和3年3月31日現在 人口 14万3,388人

| 市民1人当たりの市税負担額 |          |        |        |        | 16万1,840円 |
|---------------|----------|--------|--------|--------|-----------|
| 市民税           | 固定資産税    | 軽自動車税  | 市たばこ税  | 都市計画税  |           |
| 8万1,230円      | 6万4,834円 | 1,039円 | 5,548円 | 9,189円 |           |

| 市民1人当たりに使われたお金 |          |          |          |          |          |        | 42万7,698円 |
|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|-----------|
| 民生費            | 教育費      | 総務費      | 衛生費      | 土木費      | 公債費      | 消防費    | その他       |
| 26万5,676円      | 4万4,965円 | 3万3,305円 | 2万3,415円 | 2万2,392円 | 2万1,192円 | 9,397円 | 7,356円    |

### 特別会計決算額

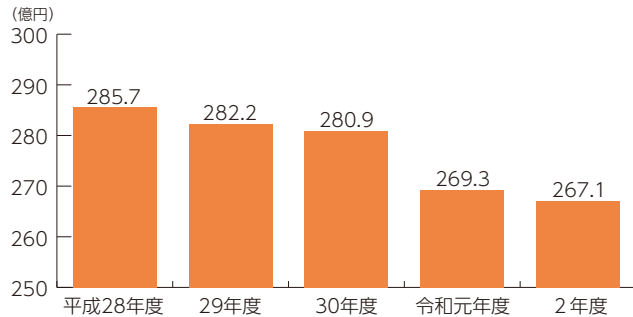
| 会計名         | 歳入決算額         | 対前年比(%) | 歳出決算額         | 対前年比(%) |
|-------------|---------------|---------|---------------|---------|
| 国民健康保険特別会計  | 106億9,698万7千円 | 96.0    | 103億3,066万4千円 | 94.0    |
| 介護保険特別会計    | 78億6,416万4千円  | 107.2   | 75億1,405万4千円  | 106.6   |
| 後期高齢者医療特別会計 | 13億4,297万7千円  | 103.3   | 13億4,062万4千円  | 103.4   |

\*パーセント表記のものについては、小数点以下第2位を四捨五入しています。

## <令和2年度 市債、基金残高>

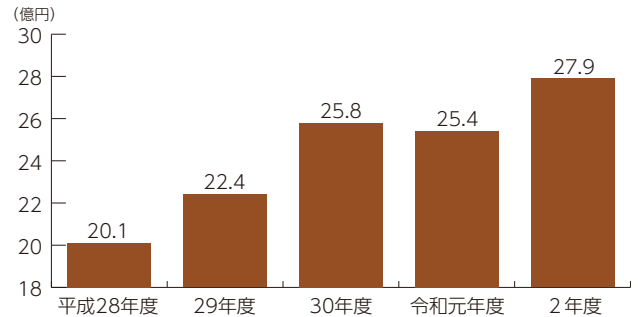
**市債残高 267億1,180万円**

一般会計の令和2年度末市債残高は267億1,180万円で、令和元年度末に比べて2億1,434万9千円減少しました。



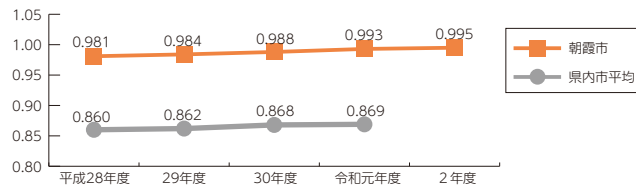
**財政調整基金残高 27億9,064万7千円**

一般会計の令和2年度末財政調整基金残高は27億9,064万7千円で令和元年度末に比べて2億5,275万4千円増加しました。



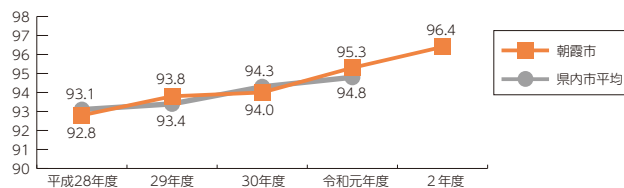
## <令和2年度 決算に基づく指標>

**財政力指数…0.995**



財政力指数は、標準的な行政活動を行うのにどれだけ自力で財源を調達できるかを表した指標です。  
〔参考〕令和元年度は、財政力指数の高い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中4番目でした。

**経常収支比率…96.4%**



経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断するための比率で、人件費や扶助費（社会福祉のために支出されるお金）などの経常的な経費に、地方税などの経常的一般財源がどの程度充当されているかをみる指標です。

〔参考〕令和元年度は、経常収支比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中27番目でした。

### 健全化判断比率

健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方財政の早期の健全化を図るために定められた指標です。

|          |                |   |
|----------|----------------|---|
| 実質公債費比率  | 4.7% (25.0%)   | 実質公債費比率は、一般会計等が負担する地方債の償還金等の標準財政規模に対する比率です。         |
| 将来負担比率   | 23.1% (350.0%) | 将来負担比率は、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。         |
| 実質赤字比率   | 「 - 」(12.05%)  | 実質赤字比率は、一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模（一般財源の標準規模）に対する比率です。 |
| 連結実質赤字比率 | 「 - 」(17.05%)  | 連結実質赤字比率は、全会計を対象とした実質赤字額（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率です。  |

〔参考〕( ) 内の数値は朝霞市の早期健全化基準を表しています。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字額がないため「-」と表記しています。